

**目的** 「生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築」と「教員の働き方改革の推進」の両立～中学校の休日の部活動を段階的に地域のスポーツ活動に移行～

**背景**

- ・近年、深刻な少子化が進行し中学校生徒数の減少が加速化するなど、部活動の持続可能な運営が困難。
- ・競技経験のない教員が指導せざるを得なかったり、休日も含めた運動部活動の指導が求められたりするなど、教員にとって大きな業務負担。
- ・スポーツへの参画が多様化してきている中、子ども達が自分の希望するスポーツを親しんだり体験したりできる環境が不十分。

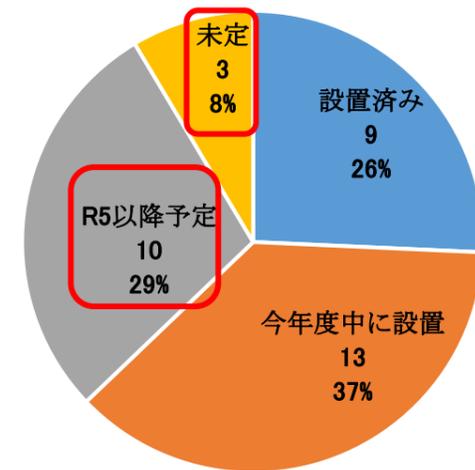
**現状・課題**

**これまでの県の取組み**

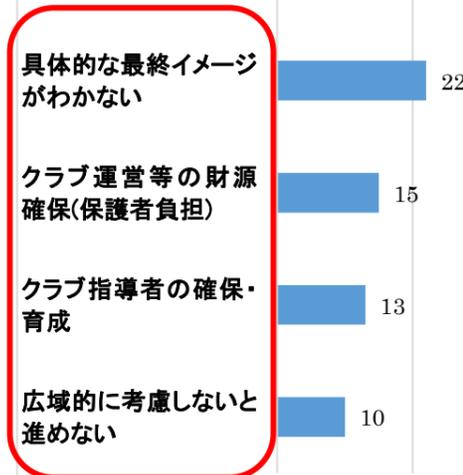
- ◆部活動改革についての検討・周知
  - 部活動改革にかかる検討委員会開催(R2)  
現状・課題の把握、意見交換等
  - リーフレット配布(R3)・説明用動画の配信(R4)  
市町村、学校、生徒、保護者、地域スポーツクラブ、スポーツ協会、競技団体等への周知
- ◆スポーツ庁実践研究の実施
  - 休日の部活動の地域移行(R3,4)  
R3：山形六中、鮭川中  
R4：上記2校の他、藤島中、小国中
  - 合同部活動の推進(R3,4)  
天童一、二、三、四中  
(野球部)

市町村への部活動改革意向調査（令和4年9月実施）

市町村の部活動改革検討組織の設置状況



市町村の部活動地域移行に関する困り感



**各市町村が抱える主な課題への必要な対応**

- 全ての市町村において、部活動改革を具体的に検討する組織の設置
- 地域のスポーツ環境のあり方を含めた部活動改革の基本的な考え方の共有化
- クラブ運営や指導者謝金等にかかる財源の検討
- クラブ指導者となり得る人材(地域のスポーツ指導者・退職教員・大学生・専門的指導が可能な保護者等)の掘り起こしや確保・育成
- 単独での地域移行が難しい市町村に対し、近隣市町村との連携を見据えた広域的な取組みの検討

地域の実情を踏まえた「部活動の地域移行」が着実に推進できるよう主体となる市町村を支援

**市町村担当課長会議(10月18日開催)**

◆本県における部活動改革の基本的な考え方を市町村と共有

- 部活動は平日のみとし、休日は原則行わない。(中体連主催大会等へ学校単位での参加を除く)
- 休日の活動は、活動を希望する生徒の自主的な活動である。
- 休日の活動を希望する生徒は、地域での新たな活動としてクラブ等に所属するなど、自由に選択して活動する。
- 各市町村は部活動改革を検討する組織において、休日に活動することを希望する生徒のために、活動している部活動の種目を中心に、休日にも活動できる環境整備について、地域の特性を踏まえながら弾力的に検討していく。

**部活動改革に向けた今後の取組み**

(市町村)

- ◆部活動改革を検討する組織を設置し、具体的な検討を開始
  - ・市町村における基本的な考え方を確認
  - ・各中学校や受け皿となり得るクラブ等の現状把握
  - ・具体的な地域移行のイメージ、移行が困難な種目等の確認
  - ・コーディネーターを配置し、地域移行に向けた手順例や指導者及びクラブの役割等を確認
  - ・コーディネーターの調整のもと、受け皿となるクラブとの調整、新たな運営主体の設立等の確認
  - ・生徒、保護者と部活動の現状や課題について共有
  - ・他市町村との広域的な連携の検討

◆部活動改革に関する政府の予算について情報収集を行い、必要な予算を確保

(県)

- ◆部活動改革に関する政府の予算について情報収集を行い、必要な予算を確保
- ◆市町村を越えた広域的な連携に際しての必要に応じた協議の場の設定
- ◆県・地区中学総体の参加のあり方について県中体連との協議
- ◆スポーツ指導者の人材確保に向け「リーダーバンクやまがた」(スポーツ指導者人材バンク)の登録促進
- ◆「部活動地域移行に関するガイドライン(仮称)」・「地域スポーツクラブガイド(仮称)」の作成